帳票ＩＤ	0100047	適合基準日：令和９年４月１日
帳票名称	納税通知書	

項番	印字項目		実装必須項目	標準オプション項目	備考	諸元表										
	大分類	小分類				内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	文字溢れの対応	データを保持していない場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
143		普通徴収税額後	●		金額を記載 期ごとの普通徴収税額を印字	999,999,999,999 【編集例】※□は空白を表す ＜新規課税の場合＞ 第１期 納期限　令和　５年　６月３０日 □□□ 新　規　　５，０００ 充当額　　３，５００ □□□ 差　引　　１，５００ ＜賦課更正の場合＞ 第１期 納期限　令和　５年　６月３０日 変更前　　３７，８００ 変更後　　４５，０００ 充当額　　０ 納付済　　５，０００ 差　引　　２，２００	7	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
34		充当又は委託納付額	●		金額を記載 充当又は委託納付の対象となる期ごとの充当額を印字	999,999,999,999	7	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
144		納付済額	●		金額を記載 期ごとの納付済額を印字	999,999,999,999	7	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
145		差引納付額	●		金額を記載 期ごとの差引納付額を印字	999,999,999,999	7	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
146	全期前納	全期前納納期限	●		全期前納対象の場合に全期前納の納期限を印字する。 導入時に「全期前納通知書を出力する」を選択する。 ＜全期前納対象の判定＞ 以下に全て該当する場合に全期前納対象とする。 ・導入時に「全期前納通知書を出力する」 　が設定されている。 ・現年度課税である（課税年度=調定年度） ・発付日≦普徴１期の納期限である ・普徴１期期割税額＞０である	【編集例】 ＜全期前納対象の場合＞ 令和　５年　６月３０日 ＜上記以外＞ '＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊'を編集	1	無	日付型	11	和暦/西暦	－	印字無し	7	7	
147		全期前納納付額	●		全期前納対象の場合に全期前納の納付額を印字する。	999,999,999,999 【編集例】 ＜全期前納対象の場合＞ 全期前納の納付額を印字する。 ＜上記以外＞ '＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊'を編集	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
148		全期前納報奨金		●	全期前納対象の場合に全期前納報奨金を印字する。	999,999,999,999 【編集例】 ＜全期前納対象の場合＞ 全期前納報奨金を印字する。 ＜上記以外＞ '＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊'を編集	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
149		全期前納差引納付額		●	全期前納対象の場合に全期前納差引納付額（全期前納納付額－全期前納報奨金の額）を印字する。	999,999,999,999 【編集例】 ＜全期前納対象の場合＞ 全期前納差引納付額（全期前納納付額－全期前納報奨金の額）を印字する。 ＜上記以外＞ '＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊'を編集	1	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
40	公的年金から特別徴収を行う公的年金の支払者の名称及び種類	公的年金の支払者名	●			9Pで印字しきれない場合に7Pで印字。 それでも印字できない場合は空白とする。	1	無	全角	9p:20 7p:25	－	○	印字無し	9	7	
41		支払者の法人番号	●			XXXXXXXXXXXX	1	無	半角	13	－	－	空白	9	9	
42		公的年金の種類	●			9Pで印字しきれない場合に7Pで印字。 それでも印字できない場合は空白とする。	1	無	全角	9p:20 7p:25	－	○	印字無し	9	7	
36	公的年金からの特別徴収の方法によって徴収する額及び徴収月	当年度分の仮特別徴収月	●			ＮＮ9年Z9月 【編集例】 令和　２年４月	3	無	日付型	11	和暦/西暦	－	印字無し	7	7	
37		当年度分の仮特別徴収金額	●		仮特別徴収月ごとの金額を記載	999,999,999,999	3	無	数値型	15	－	－	印字無し	9	9	
38		当年度分の特別徴収月	●			ＮＮZ9年Z9月 【編集例】 令和　２年10月	3	無	日付型	11	和暦/西暦	－	印字無し	7	7	